

第1学期終業式の話

(あいさつ)

元気なあいさつをありがとう。今年、大室小学校の皆さんに頑張ってもらいたいことを三つ言いましたが覚えていますか。それは、「あいさつ」「返事」「大きな歌声」です。

先生や友達、地域の人たちにあいさつはできるようになりましたか？

「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」というような返事はできるようになりましたか？

大きな歌声は、今日の校歌斉唱で皆さんの声を聞きたいと思いますが、大きな声で歌えるようになりましたか？

そして、それぞれの学年に期待することもお話ししてありましたね。

1年生は、「あいさつ」でした。毎日元気にあいさつができましたか？

2年生は、「1年生に優しくする。勉強や運動で1年生のお手本になる。」でした。1年生のお兄さん・お姉さんになれましたか？

3年生は、社会科や理科などの新しい勉強が始まったので、勉強に力を入れて頑張れましたか？

4年生は、宿泊学習に向けて友達を増やす努力ができましたか？

5年生は、上級生としての自覚をもち、臨海自然教室に向けて、いろいろな場面で友達を思いやり協力しようとする行動や言葉がけができましたか？

6年生は、最上級生として、大室小を引っ張る機関車としての立場を自覚した行動がいろいろな場面でとれましたか？

少しの間目を閉じて、自分の様子をふり返ってみてください。

さて、明日からは、皆さんが楽しみにしていた夏休みです。今日、担任の先生から「のびゆくすがた」が渡されますね。校長先生は、皆さん全員の「のびゆくすがた」を読んで、はんこを押しました。皆さんが頑張っている様子が書かれていて、先生までうれしくなりました。Aがいくつ、Oがいくつということばかりを気にして「のびゆくすがた」を見るのではなく、担任の先生が皆さんのために一生懸命書いた文章を、おうちの人と一緒に読んで、1学期頑張ったことを話し合ってみてください。

夏休みは、37日間です。長い休みなので、いろいろと楽しいことを予定している人も、たくさんいることでしょう。そんな皆さんに、頑張ってもらいたいことを今から話します。

1 ある朝、用事があってある高校に行った帰りのことです。校門に向かって車をゆっくり走らせていると、向こうから背の高い男子高校生が歩いてきました。知り合いでは、しかし、その男の子は、校長先生の車を見ると立ち止まり、何かを言いながら会釈をしました。何を言っていたのかは車の窓を閉めていたので分かりませんが、たぶん「おはようございます。」だったと思います。

2 十年以上も前のこと。車で福島県に旅行に行ったときのことです。押しボタンで信号が変わり、小学校高学年くらいの男の子と中学年くらいの女の子が私の車の前を渡りました。渡り終わっても二人は横断歩道の所を動かないで、こちらを見えています。「知り合いなの？」と同乗していた妻からも言われましたが、もちろん知っているはずはありません。やがて、車の信号が青になると、その子たちは二人一緒に深々と頭を下げました。お礼をするために信号が変わるまで待っていてくれたのです。大室小学校も同じで、車にあいさつをしますね。でも、学校のないお休みの日にも、みなさん、車にあいさつしていますか？

今お話しした二つの例は、どちらも「あいさつ」がよくできているお話です。すばらしいですね。

でも、校長先生は、大室小学校の子どもたちなら、この二つのお話のようなことならできていると思っています。

そこで、約束してください。夏休み中も、いろいろな人に元気なあいさつをしましょう。

そして、「あいさつ世界一」の大室小学校を、地域の皆さんにも示してください。

では、2学期の始業式の日、元気な皆さんに会えることを楽しみにしています。

お話を終わります。